

愛知建築士会名古屋中支部研修会のご案内

災害時の「応急仮設住宅」とはどんなもの？

～建築士会としてできること～

愛知県では、近年、幸いにも目立った自然災害には遭遇しておりませんが、全国に目を向けると、熊本県では、2年半前の地震の影響で今なお2万4千人の方々が仮住まいをしており、広島県や岡山県では、今年7月の集中豪雨で6千棟の住宅が全壊と認定される被害が出ました。

そうした時に、避難所生活の次に新たな住み家として紹介されるのが、「応急仮設住宅」や健全な「民間賃貸住宅」などです。

そこで、今年の中支部の研修は、愛知県の担当の方から「応急仮設住宅」の制度や近年の災害地での建設事例のお話を受けた後、士会の災害対策特別委員会で作るプロジェクトチームから現時点での取組状況のお話をさせていただきます。

この研修に参加いただくことで、災害時に建築士や地域の建築集団の力で何が協力できるのか、見識を深める場にきつとなると思います。

他の支部の方をはじめ、どなたでもご参加できますので、ぜひご参加ください。

日時 平成31年1月18日(金)
午後3時から午後4時45分 (受付午後2時30分～)

場所 愛知建築士会会議室 (名古屋商工会議所ビル9階)

講師 ①愛知県建設部公営住宅課 朝倉 恭平 氏
「応急仮設住宅の制度と建設事例について」
②愛知建築士会 災害対策特別委員会委員長
石井建築設計事務所 石井 隆司 氏
「仮設住宅の木造化の意義と建築士会の取組み」

定員 60名

参加費 500円 (資料代、お茶パック)

申込方法 以下の講習会参加申込書に必要事項をご記入の上、電子メールまたはファックスにてお申し込み下さい。(複数人数の申込可)

申込締切 1月11日(金)まで。(ただし、定員60名になり次第締切)

申込み先 名古屋中支部研修委員会 石橋
E-Mail ishifam@axel.ocn.ne.jp FAX 052-222-8529

CPD 2単位(予定)

.....
(社)愛知建築士会 名古屋中支部・研修会に参加します。(平成31年1月18日開催)

ご氏名: _____ 様 (_____ 支部)
ご連絡先 電話 _____ - _____
E-mail アドレス _____ @ _____